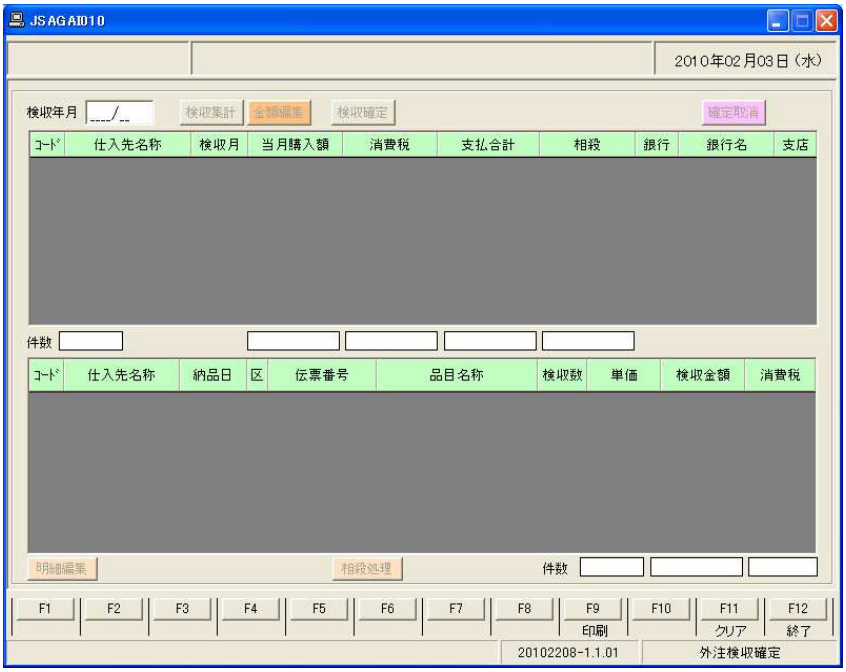
Ⅷ 外注検収確定

・検収候補中の検収データを確定処理します。
・小数点以下の関係で、1円単位の差が発生した時修正ができます。
・相殺処理が発生した時、相殺入力ができます。

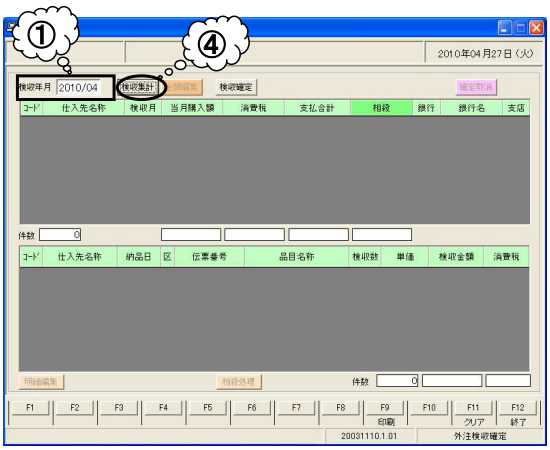
次の作業が行えます。

◆1. 検収データの確定処理をします。
◆2. 検収金額の編集作業をします。
◆3. 相殺処理をします。

メニュー「外注」→「外注業務」→「外注検確定」

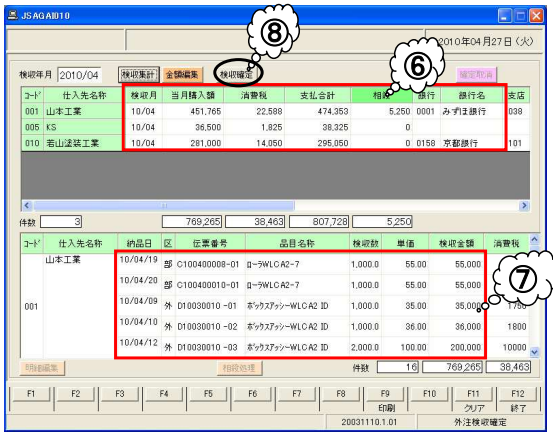


◆1. 検収データの確定処理をします。



①検収年月（西暦4桁）を入力します。

②〔検収集計〕ボタンをクリックします。



⑤検収データが表示されます。

⑥上部には、外注ごとの検収集計金額が
　表示されます。

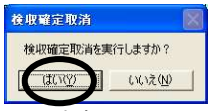
⑦下部には検収データが表示されます。
金額調整がある場合は、次頁の**検収金額の編集**を
先に行なって下さい。

⑧検収確認後、変更がなければ、
〔検収確定〕ボタンをクリックします。

⑨集計されたら、検収データ件数が表示されます。

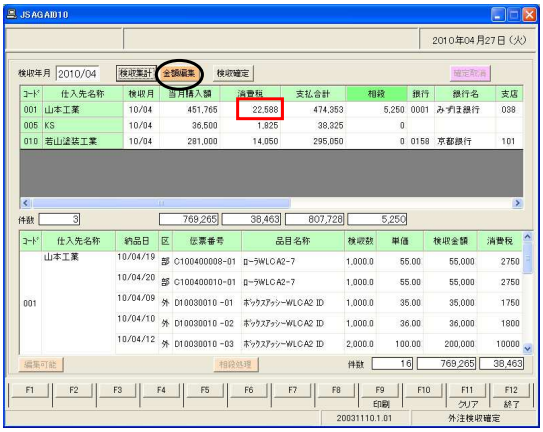
⑩検収が確定されました。
　　✖ で、閉じます。

⑪検収確定の「取消」ができます。
間違って確定した場合、〔確定取消〕をクリックします。



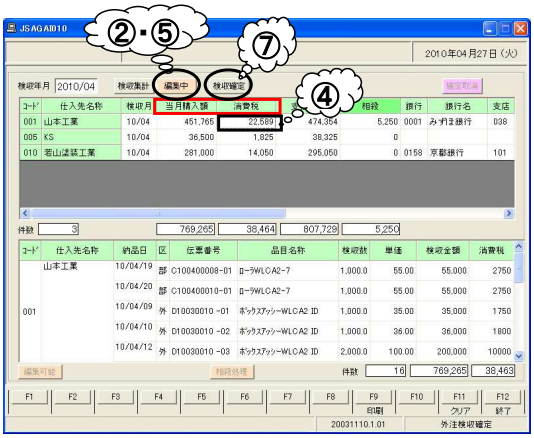
⑫〔F9印刷〕をクリックして印刷します。
（グリッド画面イメージの直接印刷です。）

◆2. 検収金額の編集。(検収確定後は処理できません)

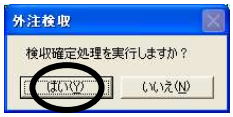


①◆1. 検収データの確定処理をします。の
①～④までを入力しますと、左の画面が表示されます
ので、〔金額編集〕ボタンをクリックします。

ここでは山本工業の
消費税22、588円を22、589円に変更します。



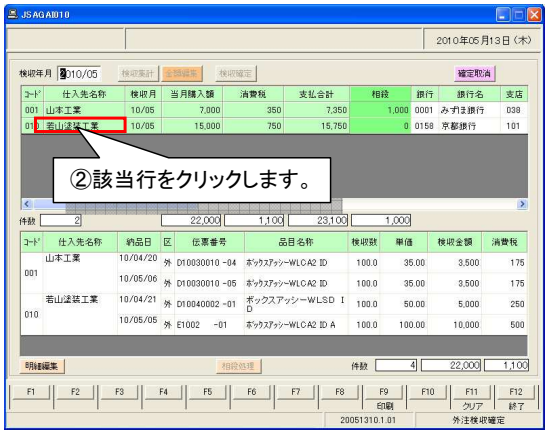
②〔編集中〕のボタンになります。
③「当月購入額」又は「消費税」枠をクリックします。
④調整する金額を入力します。
消費税の枠にカーソルをもっていき
　　22,589を直接入力します。
⑤金額を入力したら〔編集中〕ボタンをクリックします。
　〔金額編集〕に戻ります。
⑥これで、金額が変わりました。
⑦変更なければ、〔検収確定〕ボタンをクリックして
検収確定します。



⑧検収確定処理が完了しました。
のメッセージが表示され処理が完了しました。

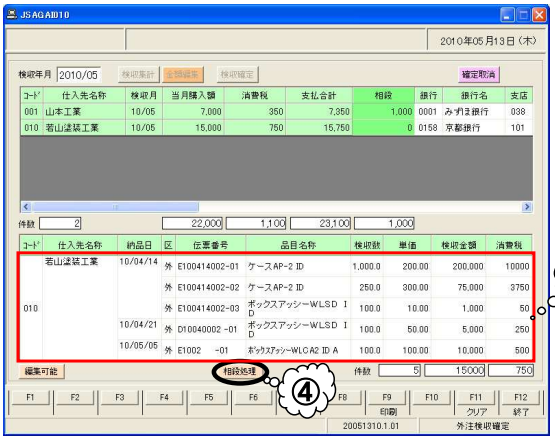
金額編集確定後に、再度編集がある時は
〔確定取消〕処理を行なってから編集して下さい。

◆3. 相殺処理をします。



①相殺処理は、検収確定後に行います。

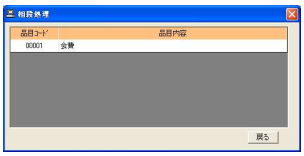
②確定後の画面の状態で相殺する
外注先をクリックします。



③外注先の検収済みデータがグリッドに表示
されます。

④〔相殺処理〕をクリックします。

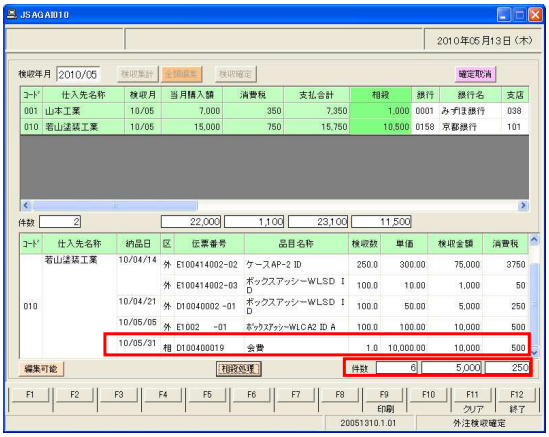
⑤相殺処理入力画面が表示さtrます。
⑥〔登録〕ボタンをクリックすると
伝票番号が自動採番されます。
⑦参照コード・相殺理由・検収数・単価を入力します。
参照コード横の〔検索〕ボタンをクリックすると、
テーブルマスタの相殺内容が反映されます。



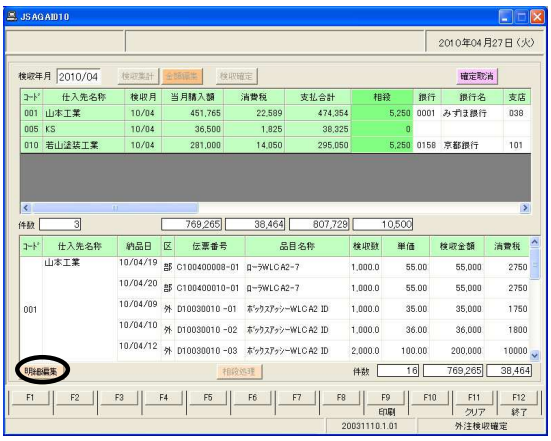
〔変更〕・〔削除〕処理の仕方

下のグリッドに表示された該当行をクリックすると
相殺処理画面に反映されます。
その後、〔変更〕又は〔削除〕ボタンをクリックし
〔実行〕ボタンをクリックすると処理が完了します。

⑧消費税をゼロにする時は「0」を入力します。
⑨〔実行〕をクリックして、相殺を登録します。

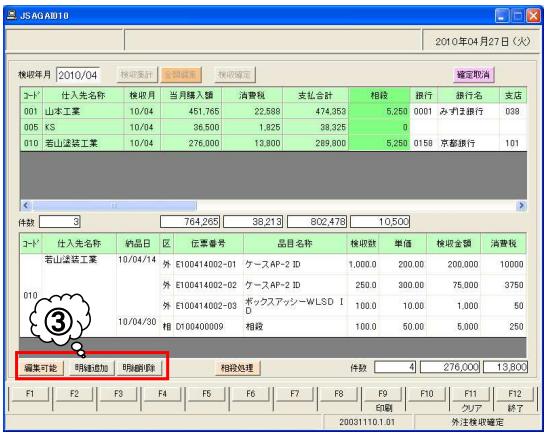


⑩検収データの最後の行に追加登録されました。



明細編集は
検収確定前に行ないます。

①明細編集したい仕入先をクリックすると
下のグリッドに表示されます。
②〔明細編集〕ボタンをクリックします。



③下のボタン表示が変わります。

ここではD10040002-01を追加します。

④〔明細追加〕ボタンをクリックします。

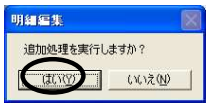
④-1削除の時は〔明細削除〕ボタンをクリックします。

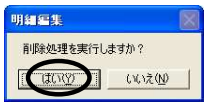
⑤検収済編集（追加）が表示されるので
追加したい伝票番号を入力し、〔実行〕をクリックします。

追加したい伝票番号とは…
登録されている納品伝票のことです。

⑤-1検収済編集（削除）が表示されるので
下のグリッドから削除したい伝票番号をクリック
すると自動入力されますので、
そのまま〔実行〕ボタンをクリックします。

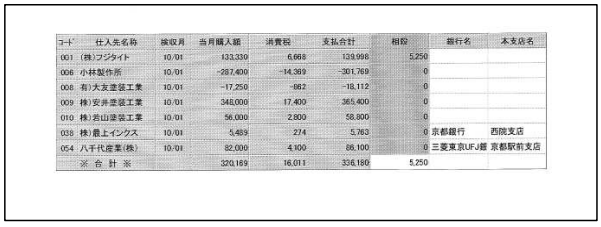
⑥明細編集実行画面が表示されるので
はいをクリックします。





⑦追加メッセージ（削除メッセージ）が表示され、
処理が完了しました。

〔F9印刷〕ボタンはグリッド画面イメージの直接印刷です。



①〔F9印刷〕ボタンをクリックすると
「印刷」画面になりますので
〔OK〕ボタンをクリックして下さい。